



天候にも恵まれ接戦となったオカモト杯

TOPIC 10
11
6
プレーオフで決着
接戦のパークゴルフ大会

第5回オカモト杯パークゴルフ大会

株式会社オカモト主催の第5回オカモト杯パークゴルフ大会が、パークゴルフインチャロで開かれ、釧路管内や本別町などから86人が参加しました。

本大会は、各グループがそれぞれ違うホールから同時にスタートをするショットガン方式。この日は男女ともにプレーオフまでもつれこむ大接戦となる中、男子の部は、町内在住の阿部信吉さんがスコア100、女子の部は、同じく町内在住の山口久美子さんがスコア104でプレーオフを制し、優勝しました。

TOPIC 11
11
11
おいしいシシャモを食べ比べ

白糠ししゃもの日特売イベント

白糠漁協は「1」の並びがシシャモを干す姿に似ていることから、11月11日を「白糠ししゃもの日」として旬のシシャモをPRしています。

この日は「白糠ししゃもの日特売イベント」が恋問館内にある同漁協直売店で開催され、白糠漁協、吾妻水産、山内水産のシシャモが特価で販売されました。

釧路市から訪れた沼田克男さんは「塩加減や干し方の違いを食べ比べながら味わいたいです」と話していました。



シシャモを買い求める来場者

TOPIC 12
11
13
舞踊や詩吟などの成果を披露

総合文化祭「芸能発表会」

町総合文化祭（町文化協会主催）の芸能発表会が3年ぶりに社会福祉センターで開かれ、町内の文化団体やサークルなど7団体が、練習の成果を披露しました。

発表会は、しぐれ白糠音頭保存会の舞踊で開幕。樹の会や藤間流真三代会、白洋大学舞踊部、西庶路音頭振興会の舞踊、白糠吟詠会の詩吟、最後は、白糠大正琴サークルの大正琴で発表会を締めくくりました。来場した大友マサ子さんは「衣装や踊りなど、それぞれ特色があり、おもしろかったです」と話していました。



白洋大学舞踊部による小唄「紅葉の橋」

TOPIC 7
11
4
町民の健康に役立てて

「明治安田生命」寄付贈呈式

昨年10月に町と健康増進連携協定を締結した明治安田生命保険相互会社から211,500円の寄付をいただきました。寄付金は同社が展開する「私の地元応援募金」によるものです。

この日は、役場で贈呈式が行われ、同社春採営業所の樋口主馬所長から棚野町長に寄付目録が手渡されました。棚野町長は「まちづくりの3本柱の一つである町民の健康づくりに、しっかりと使わせていただきます」と感謝を述べました。



棚野町長に寄付目録を手渡す樋口所長

TOPIC 8
11
5
42年間ありがとう
携わった方に感謝

社会福祉事業団白糠学園感謝の会

昭和55年に開設され、令和5年3月31日で閉園となる北海道社会福祉事業団白糠学園の「感謝の会」が白糠養護学校体育館で開催されました。

式では、内海敏江理事長が「白糠学園としての役目は終わりますが、子どもたちへの支援は引き続き行っていきます」とあいさつ。その後、同園の運営に協力してきたとして、関係者や関係団体に感謝状が贈られました。最後は、42年の歴史を振り返るスライドショーが上映され、出席者が思い出に花を咲かせていました。



学園に花を生けてきた新井田芳子さんに感謝状を手渡す園生

TOPIC 9
11
6
神へ感謝し
アイヌ文化の伝承誓う

第43回ししゃも祭

白糠アイヌ協会（天内重樹会長）主催の第43回ししゃも祭がウレシパチセと茶路川河畔で開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小して、協会関係者のみ26人が参加しました。

ウレシパチセで、カムイノミ（火の神への祈り）、茶路川河畔でヌサンオカミ（御幣への祈り）が行われた後、ク・リムセ（弓の舞）、エムシ・リムセ（剣の舞）などの古式舞踊を奉納し、神への感謝とともにししゃも漁の安全と豊漁を祈願しました。



アドウイソ・リムセ（船漕ぎの踊り）の様子